

俳句を写真画像と共に楽しむ

●しゃらくかい 写楽同会

平成30年2月28日発信 026
投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com
© 2018 Sharakukai

如月2月号の兼題は池福楼さん出題「編む」または「織る」。編んだもの、織ったものも含みました。

写真俳句



毛糸編む手はそのままの生返事

1 毛糸編む手はそのままの生返事

妻が毛糸を編み出すと、会話になりません。

2 寝たふりで孫喜びし冬は編む

昨年50年ぶりに編んだブランケットです。



寝たふりで孫喜びし
冬は編む



タータンに
あざみ
薊の思い織り込まれ

あざみ

3 タータンに薊の思い織り込まれ

他国よりの侵略を防いだという薊は
スコットランドの国花。因みに花言葉は
「独立・厳格、等」



あたたかい
理想の編み方
鳥の羽根

4 あたたかい理想の編み方鳥の羽根



如月の手織り手編みは物語

5 如月の手織り手編みは物語

友人が織ってくれたマフラーと自作のセーター。



編みかけの
マフラー急かす
小夜嵐

6 編みかけのマフラー急かす小夜嵐

風の強い日、マフラー早く仕上げなくてはと急かされます。

※写真は良い物が撮れずパソコンデータより使用。



絹つなぎ
春の舞い織る佐賀錦

7 絹つなぎ春の舞い織る佐賀錦

伝統工芸師の匠の技が織りなす錦の美

8 菰織の巻駒鳴って父寡黙

菰織（こもおり）は筵織（むしろおり）と同義と見做しています。菰と筵の違いは面積当たりの利用する藁の量です。巻駒は“つちのご”とも呼ばれる木製の重りの事です。これが触れ合って軽やかな音を出します。農家の者でないと判らない场景です。



俳句



池福楼撮影

©2018 Print Hakase

1 風の中手編みマフラー目だけ出し

お気に入りのマフラーをぐるぐる巻いて準備万端。

2 春水面亀甲模様の光編む

3 寒風や手編みのえりに遠慮なし

4 吾の手から 母に巻かれる 毛糸かな

小学生の頃、よく母が毛糸を巻くのを手伝ったことを思い出しました。

5 春きざす機織る音もリズムカル

以前住んでいた近所の奥さんは栃木県の方で内職に結城紬を織っていました。とても頑張り屋さんで家の前に行くとパタンパタンと規則正しい音が聞こえて来ました。

6 鬼待つや小笹に山の年の豆

7 オリンピック月桂樹の葉で冠を編む

何気なく入りしカフェでジャズ流れ心和みて珈琲旨し 準坊

<< 最近ではジャズを聴かせる喫茶店が少なくなり残念に思っていました。>>

ミンサーに耳当て聴かん波の音早や春ならん南の島は 北切雀

<< 沖縄竹富島の織元で買って来た、ミンサー織りの半幅帯を重宝しています。>>

川柳

準坊 恵方巻き方角間違え食べ直す

<< 今年の恵方は「南南東やや南」だそうですね。>>

池福楼 句報編む苦勞がわかる誤字脱字

<< 北切雀編集長さんいつもありがとうございます。>>

三つ編みの乙女はいまや鳥の巣に

セーターの袖口光る青っ漬

<<今は鼻水を垂らす子はあまり見かけない・・・>>

北切雀 福豆をたらふく食べる年となり・・・親

<< カリポリ・・・美味しい。>>

「お庭は外」字余りでまく吾子三才・・・子

<<「鬼はあどこお」とも叫んでましたっけ。>>

孫三才おうむ返しの「オニワソト」・・・孫

<< 英語環境の孫、どこまで理解しているのやら。>>

30年1月「去年今年」または「正月」(出題者:沈丁花)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、*は読者コメントです。

睦月号の全体へのコメント：*川柳も楽しかったです。

*とても内容豊富でいい作品が多く、読みごたえがありました。楽しく読ませていただきました。

写真俳句の部 総投票数：31

二席 ポイントでおせちの届くお正月 沈丁花(8票)

<<有り難い世になりました。おいしくてリピーターになってます。亡き母にも食べさせてあげたかった…。>>



ポイントでおせちの届くお正月

- * 何となくせちがらい世の中にもなりましたね。
- * ものすごく美味しそうで即「ちこり村」をネットチェックしました。時代は変わっても残したい伝統。
- * ポイント沢山貯めましたね 何年かかりました？素直で良いと思いました。
- * 現代のお正月の様子を川柳風に表現されています。
- * 便利な時代になりましたね。現代的なお正月を「ポイント」を用いて表現した視点がいいですね。
- * いいなあ、幸せいっぱい、年の始めにごほうびをもらった感じで、また一年頑張れますね！
- * 新年の大切な行事がどんな形でも続いているのはうれしいですね。
- * おせちの写真に目が釘付けになりました。外国暮らしの身、またおせちを食べられるのはいつのことやら。

佳作



去年今年踏む食む草の薄化粧 北切雀 (6 票)

<< 馬には暮も正月も関係なし。村の大通りでの眺めです。>>

- * 「踏む食む」の音感が最高。非常に馴染みのある光景です。
- * 雪が降っても木枯らしでも草は強いですね 憎たらしいほど元気ですね。
- * 人間のせわしない年末年始など関係ない姿の景色が清々しく羨ましい
- * 韻を踏んだ中七が上手い。画像の美しさと共にこれぞ写俳の魅力、醍醐味となっています。

老二人 平穩無事にお正月 昼寝覚 (5 票)

<< 古希もすぎているが、二人して今年も無事正月を迎えられ、ありがたいことと思っています。>>

- * お二人の道のりが伝わってくる写真と句です。立派なお屠蘇器ですね。
- * 長い年月寄り添って生きていても、お正月にしっかり二人でおせちを食べる、身近なところの幸せが大切です。(自分への反省です。)
- * 今は平穩無事であることが何よりいちばんですよね。
- * 一見、正月の当たり前の情景と句ながら作者と配偶者の新年の心境を十分に伝えている。

峰近し (順不同)



線香に仏なみだ目初参り 準坊

<< 初詣では何処でも老若男女で賑わってますね。>>

- * もうもうたるお線香の煙、初詣の賑わいがよく表されています。
- * 私もよく涙目になるので、思わず笑いが出ました。
- * こちらにまで線香の香りが漂ってきそうです。
- * 大勢が線香を供え、仏さまが煙たそうにしているのが微笑ましいです。
- * 仏様を人間の目線に下げてしまう発想が畏れ多いが楽しい。

日が昇り静かにつなぐ去年今年 千泉

<< 今年は雲が少し出てましたが、良い天気でした。>>

- * これぞ日本の元旦。西洋の花火を上げてのカウントダウン大騒ぎには何十年経ってもどうも馴染めなくて。
- * 初日と詠まない所がいいですね。
- * 初日の出に新年の安寧を願う心があふれている句。





柄杓たて
袖口濡らす
初手水

柄杓たて袖口濡らす初手水 久芽

<< 最後に柄杓を立てる時に袖口を濡らすこともありました。>>

- * よくあることなのですが、句にするときれいですね。
- * これ、ほんとうにあるのよね。柄杓を立てて残った水で柄を洗うときに袖口が濡れちゃって冷たい！
- * 水の冷たさが鮮明に伝わり詠み手の新年の願いを想像する。



初春やのどけき日差し茶花孕み

初春やのどけき日差し茶花孕み iSAMU

- * 「初春（新年）・のどけき（春）・茶花（冬）」は季重なり？。
- * 子供の頃、近所に小さな茶畑がありました。茶の花の風情が子供心にも印象的でした。
- * 茶花の代表・椿のつぼみが初春の慶びを表し格調の高い句となっている。



黄金の
鯉が迎えし
今朝の春

黄金の鯉が迎えし今朝の春 池福楼

<< 初詣のお寺にて。「こいつは春から縁起が良いわい」となればいいが…>>

- * 神々しい美しさ。これはご利益あるでしょう。



鏡もち店で手にする今正月

鏡もち店で手にする今正月 梵坊

- * 一族が集まり賑やかに餅つきをした時代を思う。

短歌

オリオンを見上げて聞ゆ除夜の鐘カウントダウン待つ初参り 準坊

<< 我が家の恒例。大晦日から新年にかけて近所の神社に初詣で。>>

- * 唱歌「冬の星座」を彷彿とさせる。深夜の冷涼で静寂の中、鐘の音と星座のセッションが始まる。
- * 冬の大三角形。すぐ見つけれられるオリオン座は大好きです。輝きと寒さの中で年を送り、年を迎える。

写真いいね!

推薦2名：昼寝覚、北切雀

柄杓たて袖口濡らす初手水

久芽

- * 湖畔の神社でしょうか、竜の蛇口と背景のぼけの程度の構図がすばらしい。(昼寝覚)
- * 昔、毎年夏を過ごした野尻湖を思い出しました。湖の中の小島にある神社の神様は龍でした。(北切雀)

推薦1名：* 縁起よさそう!(NGさん)

推薦1名：JAさん



黄金の鯉が迎えし今朝の春

池福楼



日が昇り静かにつなぐ去年今年

千泉

川柳

準坊 **ナビ無視し近道選び私の勝ち**

<< カーナビはうるさく指示を出しますが無視するのも楽しいです。>>

- * 川柳でコメ「男の子 いくつになっても 男の子」。
- * 機械と勝ち負けした遊び心がくすつと笑える。

池福楼 〈正月3句〉
門松も凧も和服も無い年始

大吟醸朝からドン! と三が日

<< 3日間はうちの財務兼厚生大臣からおとがめなし。>>

- * 罪悪感なしでお祝いでできていいですね。奥様の手の平の広さ!

紅白を見ても知らない顔ばかり

- * もう誰が誰やらさっぱり。

俳句の部 総投票数：30**一席****枕辺に真白き下着去年今年 池福楼（7 票）**

<< 子供の頃、元旦の朝の思い出。新品の下着に着替え、特別の日を実感したものです。>>

- * 自分も子供の頃、新年には一張羅の服を着せられたもんです。
- * ああ、そうでした、そうでしたね。正月は今より特別でした。正月はクリスマスに飲み込まれる国で暮らしているので特にそう感じます。
- * お正月に新しい下着嬉しいですね 思い出しました。
- * お正月に新しい下着を揃えるという習慣はうちにはなかったので新鮮でした。

佳作**忙しさに積み残しあり去年今年 準坊（5 票）**

<< 時は止まる事なく否応なしに新年を迎えます。>>

- * 昔、「時間よ止まれー」なんてTVがありましたが、まさにそう叫びたくなるのが年の移り変わり、同感です。
- * 積み残しは毎年のことだなあ。
- * 日頃の忙しさに紛れて、ついつい来年延ばしになってしまうこと、よくあることです。
- * いつも年越しはやり残し感があります。同感。

南天の実よき福来ると言いし母 千泉（5 票）

<< 亡母のくれた鉢植えが地植えでたくさん育ち、正月も真っ赤な実を飾りました。>>

- * 中七が八文字になっているのが少し残念。
- * 南天の実を飾ると、お正月だなあという気持ちがします。
- * 私の母も「難を転ずる」と言って、料理のあしらいなどに南天を良く使っていました。上五字余りでしみじみとした気持ちを良くまとめたと思います。
- * 自由律の句として鑑賞。お母さんとの正月の思い出を詠んで秀逸。

正月のめでたさ二乗まごふたり 北切雀（4 票）

<< 100乗以上めでたいと思うのですが、ゴロが悪いので二乗。>>

- * 正月に孫が二人も来たら喜びも倍増ですね。ウチは残念ながら・・・。
- * 未来へといろいろな可能性が広がる孫が増えて、文句なしにめでたい！！
- * お孫さんふたりとはめでたい。作者の慶びが素直に伝わる。

峰近し（順不同）

きょうだい

姉弟が顔揃えたるお正月 沈丁花

<< 五人きょうだいの新年会がありました。>>

- * 日頃見れない顔が集まる賑やかなお正月は、いいですよ。
- * 口には出さねど、お互い老けたな～と思う・・・
- * 年と共に家族のありがたさ、大切をしみじみと。皆揃って良かったですね。

初詣で冷えた手かざすかがり火に 梵木

- * 冷たくなった手は小さな火でもかざして温めたくくなりますね。
- * 「かがり火に冷えた手かざす初詣で」でもいいですね。

住所録 三件消去 去年今年 昼寝覚

<< この年になると毎年友人何人かが逝去されます。だんだん寂しくなります。>>

- * 句を縦書きにすると硬い？。川柳でもいいかな。
- * 近年感じていたことを句にするとうなるのですね。
- * 年を越すごとに知人が亡くなっていくということを実感する年になり、共感しました。
- * 私は故人の住所録は消去しません。いつまでも心に生きているから・・・
- * 住所録・・・どこに置いたか。手書きの人とは疎遠になるばかり。
- * 漢字のみの句というのも面白いですね。

神妙にお礼納めし去年今年 久芽

<< いろいろお願いしたお札に御礼を。ありがとうございました。>>

- * 「去年今年」の季語がぴったり。
- * 去年今年の使い方が良いなと思いました。
- * 神様も嬉しいことでしょう。
- * けじめをつけて新年へ。

- * 平成30年3月の兼題は梵木さん出題「旅」です。旅の文字が無くても旅に関する作品なら可とします。旅の思い出も含めご自由に詠んで下さい。4月は久芽さんから「乗り物」と出ています。
- * 平成30年2号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 弥生3月への投稿、如月2月号作品への投票の締め切りはともに平成30年3月20日です。
- * 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」（五十音順） 池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、

写楽句会026（連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com）

© 2018 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

4ページ

一席の読者コメ Etsuko さんの「おせちの写真に目が釘付けになりました。」
は入れなくても良いのかな？

5ページ

「日か昇り・・・」の読者コメ1番目の
これぞ日本の元旦。静養の花火を・・・→西洋の花火を・・・

6ページ

「初春やのどけき・・・」の読者コメ自分ののですが間違えていたので訂正お願いします。
「新春（新年）・・・」→「初春（新年）・・・」にしてください。

9ページ

「初詣冷えた・・・」の読者コメですがこれも訂正お願いしたいとの事です。すみません。
「冷たくなった手をどんな小さな火でもかざしたくなりますね。」を
「冷たくなった手は小さな火でもかざして温めたくなりますね。」をお願いします。

~~~~~

追加です！ 8ページ

「正月のめでたさ二乗まごふたり」の作者名が入っていません。  
この句は初校では峰近しに記載されていましたが佳作で良いのですか。



















